

(別紙 9)

岩手県におけるクマ類の調査の実施に係る計画/評価報告
(調査・計画策定事業)

1 現状のクマ類の調査の状況及び課題等

本県では、平成 30 年度～令和 2 年度にかけ、県内全域で大規模ヘアトラップ調査を実施し、全県での推定個体数を推計しており、ツキノワグマ管理計画の施策等に反映しているが、近年、出没数や人身被害が増加する中、現在の県内の推定個体数を把握し、次期管理計画の策定や指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画の策定のためのデータとすることが必要である。

2 実施する調査の具体的な内容等

実施時期	令和 7 年 1 月～3 月
場所	県内全域（北奥羽地域）
目的・必要性	ツキノワグマの指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画及び次期第二種特定鳥獣管理計画策定のため生息状況調査（大規模ヘアトラップ調査による遺伝分析）を実施したもの。
調査主体	岩手県
内容・得られる情報	北奥羽地域個体群の推定個体数
方法	委託による実施
活用方法	ツキノワグマの指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画及び次期第二種特定鳥獣管理計画の検討・策定
事業費	7,698,900 円
備考	

注：事業前の計画では各項目について想定又は期待される内容を、事業終了後の評価報告では各項目に関する実績や結果を具体的に記入すること。実施する調査が複数ある場合は、調査の種類毎に各項目を記入すること。

3 調査結果及び考察（事業終了後の評価報告時のみ）

【調査結果】

北奥羽地域のツキノワグマ個体数密度・頭数の推定結果（速報値）

推定密度 0.599 頭/km²（推定値 0.599 頭/km² 95%信頼区間 0.527 頭/km²～0.682 頭/km²）

推定頭数 2,213 頭（推定値 2,213 頭 95%信頼区間 1,947～2,520 頭）

令和 7 年度は、北上山地地域個体群の生息状況調査（大規模ヘアトラップ調査）を

実施する予定としており、その結果と併せて全県での推定個体数を算出し、次期管理計画策定や指定管理捕獲等事業実施計画策定のためのデータとして活用する。

注：調査によって得られた情報と分析結果、調査結果の活用方法等を記載するとともに、今後の改善点や必要な調査等についても記載すること。

4 その他

注1：モニタリング・調査の実施に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。
注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。